

令和4年度 小林市立野尻小学校 学校関係者評価書

評価段階 4:期待以上 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する

学校経営 ビジョン	○ 「教育活動の充実」と「働き方改革」の一体的推進を図ることにより、確かな学力と適切に判断して行動する力を備えた児童を育成する。 ～「行きたい、通わせたい、働きたい」と心から思え、地域とともにある学校づくりを通して～
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	○ 学力の向上 ぐんぐん 「夢に向かって自分の考えをもち、進んで学ぶ児童の育成」 … 「学びたい度」夢や希望80%、社会への関心80%、社会への貢献80%、				全国学力テスト等の結果で表現力について「自分の考えを伝えることが少し苦手」との分析結果が出たとのことだが、「発言・伝え合い」の評価で個人差が大きいとの自己評価をされており、課題の把握をされているので、今後の指導の重点項目として取り組んでほしい。 図書貸出平均数については、目標数を達成されているようだが、本の種類・分野についての分析もしてほしい。 テスト等、全国や県の平均を上回る成績を残しつつ、改善点を見極め、更なる学力向上に力を入れているところが素晴らしい。図書貸出平均も多いのでこれを活かしたイベントもあつたらいいと思う。 「全国学力テスト」で全教科が全国平均点を上回った成績は校長先生を中心とした先生方の努力であり、「授業デザイン」に基づく指導の成果であると高く評価する。自己表現力については、日本人特有の弱点といわれる。日常生活における大人を含めた問題であるが、グローバル化した国際社会に大きく羽ばたく子ども達には、大切な能力と思う。 授業デザインの活用、読書の推進など学力向上に創意工夫が図られている。 年間図書貸出が平均143冊ということで、すごいと思う反面、単純計算すると2日に1冊を読んでいることになるが、どういう種類の本なのか、また、時間の合間にも読んでいるとのことであるが、自宅での読書も含めよく時間がつくれているものだと思う。
	1 「発言・伝え合い」「タブレットPCの積極活用」「授業デザイン」を基とする授業の充実と改善	「授業デザイン」を基にして指導案を作成しての参観授業を全職員が一人2回以上行うことができた。 伝え合いは少しずつできるようになってきたが、個人差が大きいので、今後も実践を続けていきたい。 各学年、工夫しながらタブレットPCを活用できた。さらに、タブレットPCを使用する時とそうでない時を判断して、効果的に活用していきたい。	3. 0		
	2 諸調査における分析と結果の活用	「全国学テ」は、全職員で問題を解き、本校の傾向を早めに把握できたことで、授業に生かすことができた。 昨年度の「CRTテスト」の分析は、年度当初に配付したが、効果的な活用が図られなかったため、次年度は、どの学年もCRTテスト分析結果を有効に活用できる方法を工夫改善したい。 諸調査で分かった課題は、即時、補充指導を行い、指導の改善に努めた。	2. 9		
	3 授業中の約束や立腰、鉛筆の正しい持ち方等、学習のしつけの徹底	「学びのマナー週間」等によって、児童に「正しい鉛筆の持ち方」や「立腰」を意識させることができた。	3. 1	3. 6	
	4 家庭と連携した読書活動の推進	読み聞かせボランティアや図書館協力員との連携の下、児童は季節に応じた多種多様な本との出会い、読書の楽しさを味わうことができた。図書委員会を中心に「図書館祭り」を計画的に企画・実施できた。貸出冊数が少ない児童への個別の指導を工夫したい。年間図書貸し出し一人平均143冊（1月末現在）	3. 1		
	5 個に応じた学習支援の工夫	片付けに時間がかかる児童等に声かけをしていただいたり、丸付け等をしていただいたりした。児童の学習意欲と学力の向上が図られた。	3. 0		
	6 キャリア教育の充実	行事等の度に「キャリア・パスポート」に記入させ、積極的活用が図れた。 「キャリア・パスポート」に記入させるための時間設定を計画的に行っていく必要がある。また、知育部と特活主任が協力して、作成の呼びかけを行うとよい。 小林キャリア教育支援センターとの連携の他、地域人材等の活用により六月灯、棒踊り、手話等の学習が充実できた。	3. 1		

徳 育	○ 豊かな心の育成 にここに 「思いやりの心を持ち、よりよく生きることのできる児童の育成」 … 「学びたい度」学校への満足度（学校が楽しいと思う児童）100%		3. 4	<p>「あのねアンケート」等で子ども間の問題などを細かく把握できる体制を設けていることは、評価できる。ただ、保護者アンケートで挨拶が聞かれないとの意見があるようであるが、以前は通りすがりの大人にも無条件で挨拶をしていた頃もあったように思うが、時代の流れなのだろうか。</p> <p>学校外でも挨拶や会釈に個人差はあると思うが大人から子ども達に挨拶・会釈を心掛け、自然と身に付くように仕向ける必要を感じる。不審者による「声掛け事案」として認知されることへの不安もあるが、単に「こんにちは」「お疲れさま」なら、よいかと行っている。いじめについては、不登校にまで発展させない取組を今後も充実させて現状を維持していただくことを切望する。</p> <p>ボランティアや委員会等、子ども達が自分で考え、進んで活動できることは社会に出ても大きな力になると感じる。担任だけでなく、他の先生方も子ども達の心や気持ちを読み取り、寄り添っていてくれるので安心できる。</p> <p>凡事徹底、道徳、人権に関する指導、ボランティア活動等の実施について、職員間及び家庭との連携が図られている。</p> <p>毎月「あのねアンケート」や「にここに委員会」の取組を通じたきめ細やかな指導は大変すばらしいと思う。このような取組みは、ややもするとマンネリ化する傾向があるが、教職員と児童が一体となった取組として、毎月、新たな気持ちで話し合い、継続をお願いしたい。</p>	
	1 「凡事徹底」による望ましい生活習慣の定着	「挨拶・会釈・返事等」については、一般的に学年・児童のよって差があるが、概ねよくできている。 昨年度に引き続き、廊下歩行（教室移動や下校時、休み時間等）の無言が課題である。学級担任が休み時間や廊下歩行の指導を繰り返し行い、全職員でその場でのやり直し指導を根気よく続けたい。 新しく作成した「生活のきまり」の活用を積極的に図りたい。			2. 9
	2 定期的なアンケートやスクールカウンセラーとの連携による教育相談の充実	毎月「あのねアンケート」を実施し、その内容を全職員で共通理解し、その後の指導に生かすことができた。 今年度（2月1日現在）は、スクールカウンセラーとの面談実施等はなかったため、今後活用する事案がある際は活用し、専門家と連携した指導を充実させていきたい。 上記のアンケートと日常の観察等によって、実態把握に努め、気になる状況を認知したら、児童及び保護者に対して、学校全体の体制で迅速に誠実に対応してきた。			3. 2
	3 いじめ未然防止のための徹底指導や不登校への組織的対応	月1回「にここに委員会」を実施し、気になる児童や不登校について学級担任からの状況報告を行い、全職員で共通理解を図り、きめ細かな指導を行うことができた。 いじめ認知解消100%にむけて継続的組織的な支援を行い、必要に応じて、保護者面談を実施し、学校と家庭、関係機関等が連携して対応し、現在、深刻な事案は発生していない。			3. 4
	4 道徳の時間の指導改善と人権教育、特別支援教育の推進	7月「いのちの大切さ」の授業、人権に関わる授業を充実させた。 「西諸人権を考える日」に合わせて道徳の授業参観を実施。保護者にも内容を知らせ、コメントをもらったり、懇談会で協議したりすることで、保護者への啓発や話題提供も行った。 特別支援教育に関する研修を計画的に実施し、個別の支援を要する児童の共通理解を図った。また、家庭や関係機関と連携して組織的な支援を行い、個に応じた支援が行えた。			3. 3
5 自分で考えて実行するボランティア活動の推進と豊かな体験活動の充実	全児童が朝のボランティア活動に自主的に取り組めた。各学年や委員会活動（5・6年生）で充実した活動が行われているので今後も継続していきたい。 火・木しか掃除の時間がないので、清掃班長会では、毎回、掃除の仕方を具体的に指導したところ、班長を中心に一生懸命取り組む姿が多く見られるようになった。 コロナ対策を万全にとり、農業体験や社会科見学等の体験活動を充実させることができた。	3. 1			

体 育	○ 体力の向上 ぐんぐん「自分の健康について関心をもち、将来にわたり心と体を鍛え続ける児童の育成」 … 体力・運動能力テスト県平均超え項目70%、むし歯治療率100%		3. 7	<p>「R4 体力づくり優良校表彰」受賞は、日頃の指導の賜物と思う。今後も引き続きの指導をお願いする。また、県平均以下の項目についても、特にお願いする。自力登校について、500メートル程度、歩くことは、体力づくりと合わせても大切なことかと思う。</p> <p>コロナウイルスの関係で、体育授業などには特に注意されている中、優良校表彰が受けられていることは、評価に値すると思う。</p> <p>体力・運動能力が高く、外遊びがしっかりできている。苦手な子どもに対しての対応が知りたいところもある。長年力を入れている「自力登校」「むし歯治療率100%」は野尻小の伝統にしてもらいたい。</p> <p>「体力向上プラン」の活用、「野外遊び」「自力登校」は、どの方法より体力向上が図られている。</p> <p>「R4 体力づくり優良校表彰」は、体力向上プランで目標を掲げ取り組まれた成果であり、高く評価する。今後とも児童個々の能力に合わせた無理のない指導に取り組んでいただきたい。</p>	
	1 体力向上プランに基づく 体育指導の工夫・改善	<p>体育の授業を中心に各学年の課題を意識した取組を実施し体力向上プランに掲げていた目標を殆ど達成することができた。</p> <p>それぞれの運動の特性や児童の能力を教師が理解し、授業の工夫・改善を行っていききたい。</p> <p>小中一貫で取り組んでいる集団行動の基本様式「野尻中学校区ストレッチ体操」の活用については、実施していない学級もあり、3校での実施の確認が必要である。</p>			2. 9
	2 体力テストの分析と課題 改善への取組の強化	<p>体力・運動能力テストは、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、全種目を実施することができた。特に、下学年においては、6年生が手伝ってくれたおかげでスムーズに測定することができた。</p> <p>「R4 体力づくり優良校表彰」</p> <p>体力向上プランについては、なかなか定期的に確認する意識がもてないので計画的に時間を設定していききたい。</p> <p>「体育ファイル」の活用等が図られた。水泳や持久走の記録などを残し、次年度に生かすことができたことで児童が前の学年の記録を見て、意欲を高めることができた。今後も新年度赴任した職員にも共通理解を図り継続的な指導につなげていききたい。</p> <p>※体力・運動能力テスト県平均超え項目66%</p>			3. 2
	3 外遊びや多様な運動種目 への関心を高める体育的活 動の推進	<p>昼休みの過ごし方については、学級担任の外遊びの積極的指導により、児童が元気よく遊ぶ姿が見られた。</p> <p>持久走大会や縄跳び運動、ドッジボール大会等の他、運動意欲を促す場作り等の工夫改善を図ったことで、ドッジボールや鬼遊びをしている児童が多く見られた。</p> <p>晴れた日の体育館使用について職員会等で協議し、工夫改善していききたい。</p>			3. 2
	4 自力登下校の指導の強化	<p>近くでも自家用車で登校する児童も見られたので、入学説明会等で自力登下校の良さ等について説明したり、個人面談等で話題にあげたりし、保護者の理解と協力を努めたい。</p>			2. 6
	5 家庭と連携した健康教育 の推進	<p>「生活リズム調査」の取組については、「生活がんばりカード」の提出率が良いことから、保護者の意識の高揚が見られた。</p> <p>学校保健委員会では、体育面、保健面、食育面の現状について保護者に説明し、意欲付けが図られている。</p> <p>フッ化物洗口（水曜日の朝の時間）は実施できない時期もあったが、フッ化物洗口マニュアルに沿って、安全に実施できた。</p> <p>※むし歯治療率89.6%【2月1日現在】</p>			3. 3

食育	○ 食育の充実 ぐんぐん 「望ましい食習慣を身に付け、将来にわたり、健康な生活を送る児童の育成」		3. 5	<p>食物アレルギーの問題もあるので、できる範囲で「食物の命をいただく感謝の心」と「残食0」を今後も進めてください。肥満、痩身の問題は、学校だけで解決できるとは思わない。市の保健センターとの連携を今後もお願いしたい。また、保護者への指導も含め、自然体で取り組む必要がある。</p> <p>学校内の活動は、可能な範囲でできていると思う。都会にない田舎独自の野菜などの生産などにも興味をもつよう、更なる計画を望む。</p> <p>残食0は素晴らしいが、少食の児童への対応や偏食のある児童への対応は、難しいところだと思う。アレルギー対応は、しっかりしていて安心できる。</p> <p>望ましい食習慣について、保護者と連携を図り実施されている。</p> <p>夏休みの課題として「食の贈り物」を全児童が考えて、先生がコメントをつけて掲示された取組は、素晴らしいと、高く評価する。給食だよりも計画的に発行され、残食0の達成は素晴らしい成果と思う。</p>	
	1 小中一貫した食育の推進	<p>夏休みの課題で全児童が「食の贈り物」に取り組めた。その後、コメントを付けて掲示したことで、児童間の学びの場となった。給食だよりも計画に発行できた。今後も小中連携して取り組んでいきたい。</p> <p>給食時間の献立コメント放送において学校給食を「生きた食材」として活用したり、学校栄養職員による食育授業を実施したりし、食育の充実が図られた。</p>			3. 1
	2 家庭と連携した「弁当の日」の取組の充実	<p>「弁当の日」を5・6年生は夏休み、1～4年生は秋の遠足に実施した。回数に関しては、家庭の負担等を考慮して実施検討していきたい。</p>			3. 2
	3 望ましい食習慣の育成と健康に係る個別指導の充実	<p>偏食傾向や小食の児童がいるので、成長期の1食分の栄養とカロリーを考え、個に応じた指導を行ってきた結果、残食0が殆どであった。逆に食べ過ぎる児童への健康指導も工夫改善していきたい。</p> <p>中程度肥満の児童を対象に、保護者の同意を得て2か月に1回の体重測定や市保険センターとの連携した個別相談等を実施したことで、肥満の解消が図られた。</p> <p>箸や食器の正しい持ち方等、食事に関するマナーに関わる常時指導の他、保健便りや給食便りで保護者の啓発活動を継続して取り組みたい。</p> <p>調理体験活動については、コロナ感染状況に合わせて年間指導計画の入れ替え等の工夫により実施できた。</p> <p>セルフ給食の仕方や歯磨き後の手洗い場の使い方等の具体的な指導により、さらに、児童は衛生に関する行動・習慣が身に付いてきている。今後も対策指導を継続したい。</p>			3. 1
	4 食物アレルギーへの対応と安心・安全な給食の提供	<p>薬剤師によるアナフィラキシー対応等の職員研修を実施し、理解を深めることができた。</p> <p>日常の給食に係る食物アレルギー対応は、給食主任や学級担任並びに管理職等複数の体制で確認し、給食の提供に誤りがないように組織的に確実に行った。</p>			3. 4
	5 食に対する感謝の心の育成	<p>1月に「給食感謝旬間」を計画し、学級担任、児童会活動、家庭での取組を同時に行う等の工夫によって、より充実した内容になった。</p> <p>児童が給食に携わる方々へのお礼の手紙を書いたり、給食委員会を中心に給食感謝集会を計画運営したりしたことで、食に関する感謝の気持ちを培うことができた。</p>			3. 3

その他	○ 服務規律の徹底及び働き方改革の推進		3. 1	3. 7	<p>「働き方改革」については、残業時間の減少が図られているとのことだが、教職員が疲弊しては子どもたちにも影響が出るし、教職員の家庭崩壊にもつながると考える。今後も「野尻小学校働き方改革プラン」の実行により、学校経営ビジョンの実現が達成されることを切に願う。</p> <p>「働き方改革」の本校の取組は、もっと県や市に発信してもいいほど、しっかりしている。合わせてボランティアの方の取組みも学校にとって、スムーズに活動できるので、ありがたいと思う。</p> <p>行事の見直し、時差勤務の推進による労働時間の減少、地域と協力した学校づくりにも取組が行われている。</p> <p>「野尻小学校働き方改革プラン」により残業時間の減少が図られたことは、高く評価する。子ども達は、先生の背中を見ながら学校生活を送っている。児童は、先生の姿を映し出す鏡と思う。健康な活気のある職場を築いてほしい。</p>
	1 服務規律の徹底	<p>年度初めや長期休業の前に、服務規律についての説明を行い、共通理解と職員の法令遵守の意識改革を図った。</p> <p>県が発行している「コンプライアンス通信」を回覧したり、具体的な事例を職員研修や終礼等で取り上げて話題としたりすることで、互いに注意喚起に努めることができた。</p> <p>コンプライアンスチェックシート等を活用して自己評価を行った。結果については、コンプライアンス推進委員会で協議し、全職員で課題を共有し手立てを講じることで改善が図られた。今後も、組織的な対応と風通しのよい職場環境作りをとおして、法令及び倫理等に反する行為ゼロを維持したい。</p>			
	2 働き方改革の取組の推進	<p>教育課程の内容見直しや厳選を行い、業務のスリム化を図ったことや個々の職員のタイムマネジメント力の向上等により、毎月の月平均時間外勤務職員数が、年度当初と比較して減少してきている。今後も、学校行事の見直しや時差勤務の推進を図っていききたい。</p> <p>学習支援ボランティアによる施設消毒や教材作成、授業支援等により、職員が児童と向き合う時間が確保されたり、授業に専念できる時間が増えたりしている反面、職員間での活用に対しての開きが見られたので、情報交換等、工夫改善していききたい。</p>	3. 3		

次年度の方向性についての校長所見	<p>知育・徳育・体育・食育の調和のとれた児童の育成を目指し、職員が共通理解、共通実践を図ってきたことで、一定の成果が見られ、高い評価結果をいただいた。今後は、働き方改革をさらに推進しつつ、基本的な学習、生活習慣の充実を図り、今年度明らかになった課題の解決を目指して、新たなプランと具体的な取り組み事項を決めて達成に向けて、地域や保護者の皆様のお力をお借りしながら、職員一体となって努力していききたい。</p>
------------------	---